

平成 21 年 12 月 18 日

## 日本初！ マルチメディア放送システムによる バス車内ビジョンへの情報配信実験を行います

西日本鉄道株式会社、株式会社西鉄エージェンシーでは、株式会社エフエム東京と共同で平成 21 年 12 月 23 日から平成 22 年 2 月 17 日までの間、福岡市が主体となり実施される、デジタルサイネージ福岡実験(総務省地域 ICT 利活用モデル構築事業)に参画いたします。

本実験では、(株)西鉄エージェンシーにて制作したコンテンツを、総務省による福岡ユビキタス特区の指定に基づき設置された実験試験局(註1)によるマルチメディア放送システムを使用して西鉄バス車内のパソコン端末に配信します。配信されたデータはバス車内のパソコン端末に蓄積され、車内液晶ビジョンにて放映されます。

マルチメディア放送波を使用した、バス等の移動体向けビジョンへの一斉情報配信は、日本初の試みであり、世界的にも先進的な取り組みです。

西鉄グループでは、この新しい実験により、付加価値の高いバスサービスの実現を目指してまいります。

詳細につきましては下記の通りです。

### 記

実験期間 平成 21 年 12 月 23 日(水・祝)～平成 22 年 2 月 17 日(水)(予定)

実験車両数 1 台 (平成 22 年 1 月中旬に 2 台追加)

運行路線 【行先番号 151】 桧原営業所～天神～福岡タワー南口  
【行先番号 152】 桧原営業所～天神～博多港国際ターミナル  
車両運用により、運行路線を変更する場合がございます。

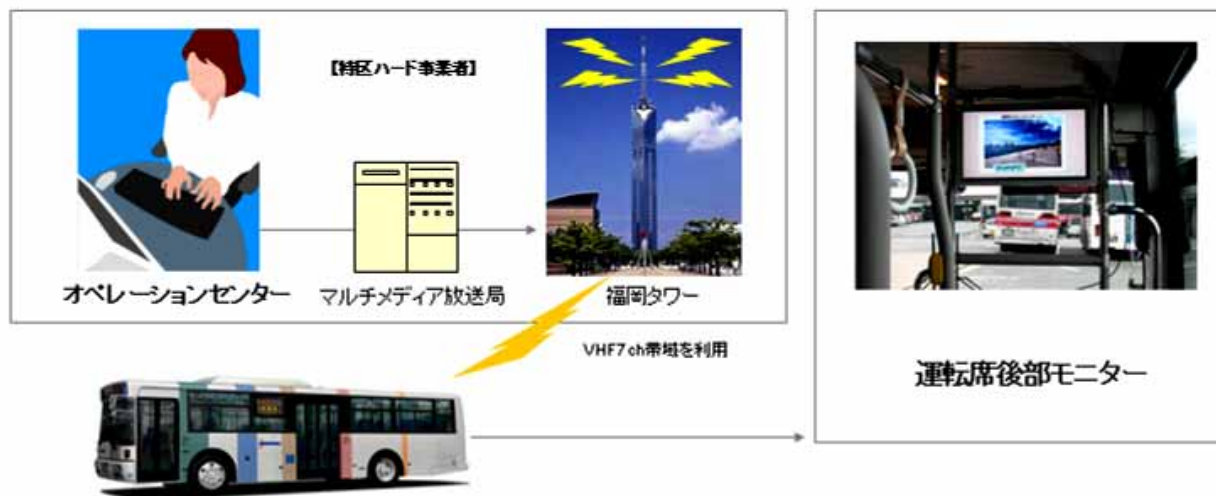
放送コンテンツ

- ・ デイリーニュース
- ・ 福岡市の観光情報
- ・ 緊急災害情報
- ・ 天神ショッピング&イベント情報
- ・ 西鉄ライオンズの懐かしい映像 ほか

使用放送波 今回の実験は、平成 23 年 7 月の地上波デジタルテレビジョン放送の完全移行に伴い、将来空きが出る VHF 波帯域を有効活用するための実験で、福岡ユビキタス特区の指定に基づき設置された実験試験局によるマルチメディア放送波を活用します。

特徴 福岡タワーから、実験試験局として免許された帯域(VHF7CH)を使用してコンテンツデータを配信します。マルチメディア放送波を使用することにより、移動しているバスにも一斉にデータを配信することが可能になり、データの書き換え作業が不要となるため、緊急災害情報やニュースをリアルタイムな情報としてバス車内で放映することができます。

## 実験概念図



実験費用 6,800 万円 (デジタルサイネージ福岡実験の全体総額)

< 参考 > 総務省地域 ICT 利活用モデル構築事業 (総務省)  
[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/2008/080613\\_6.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2008/080613_6.html)

< 参考 > ユビキタス特区 (総務省)  
[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/2007/070618\\_5.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2007/070618_5.html)

(註1)「実験試験局」とは  
「地方ブロック向けマルチメディア放送」の先行実験を実施するために、九州総合通信局より付与された「実験試験局」免許により、現在は最大出力 250 ワットで、福岡タワーから電波発射をし、マルチメディア放送システムのサービス実験を展開している。